

# CO<sub>2</sub>削減推進委員会 活動成果報告書

2008年3月11日

社団法人日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス環境会議

CO<sub>2</sub>削減推進委員会

# はじめに

---

2008年は地球温暖化問題にとって節目の年になると考えられます。

一つ目は、京都議定書の第一約束期間開始となります。1990年比6%削減という我が国の国際公約達成に向けて、取り組みを進めなければなりません。

二つ目は、ポスト京都議定書に向けた動きです。7月に開催されるG8北海道洞爺湖サミットにおいては、「2050年までに温室効果ガス排出量を半減させることを真剣に検討する」こととなっており、2013年以降の新たな枠組みを見据えた動きが出てくることが考えられます。

このような状況を鑑みますと、我が国全体のCO<sub>2</sub>排出量の2割を占める運輸部門に属する物流・ロジスティクスに携わる企業においても、これまで以上に積極的な取り組みを進めていくことがより重要になると考えられます。

CO<sub>2</sub>削減推進委員会では、「物流・ロジスティクスに携わる企業のCO<sub>2</sub>削減を推進するため、改正省エネルギー法への対応も踏まえ、荷主企業と物流企業とのパートナーシップによる継続的な改善活動を推進するうえでの問題点、課題を整理し、解決策を検討すること」を方針に活動を進めてきました。

2007年度は、①モーダルシフト、②エコドライブ、③改正省エネ法に焦点をあてた検討を行いました。具体的には下記のとおりです。

- ① モーダルシフトについては、鉄道輸送に焦点をあて、今後実施、もしくは拡大したいと考える企業に有用となる事例集と、鉄道輸送事業者等への要望を取りまとめました。
- ② エコドライブは、実運送事業者のみの取り組みと考えられがちのため、エコドライブの推進に向けた発・着荷主の役割を整理し、エコドライブ実施時の課題と解決事例を取りまとめました。
- ③ 改正省エネ法に関しては、CGLメンバー企業より今年度の定期報告書、計画書を収集し、その結果を集計・分析するとともに、行政への要望を取りまとめました。

ぜひ、本書を多くの企業の皆様にご活用いただき、CO<sub>2</sub>削減活動のさらなる推進への一助とさせていただければ幸いです。

社団法人日本ロジスティクスシステム協会  
ロジスティクス環境会議  
CO<sub>2</sub>削減推進委員会  
委員長 増井 忠幸

## CO<sub>2</sub>削減推進委員会 2007 年度活動報告

---

	開催日	時間	会場
第5回	2007年5月22日(火)	10:00-11:30	芝パークホテル
第6回	2007年6月29日(金)	14:00-16:45	中央大学駿河台記念館
第7回	2007年8月3日(金)	14:00-17:00	中央大学駿河台記念館
第8回	2007年9月6日(金)	14:00-16:50	中央大学駿河台記念館
第9回	2007年11月1日(木)	14:00-17:00	中央大学駿河台記念館
第10回	2007年12月13日(木)	14:00-17:15	中央大学駿河台記念館
第11回	2008年1月17日(木)	14:00-17:00	アイビーホール青学会館
第12回	2008年2月15日(金)	14:00-17:00	芝パークホテル

# CO<sub>2</sub>削減推進委員会 委員

2008. 2. 20 現在 (敬称略・順不同)

		会社名	名前	役職
1	委員長	武蔵工業大学	増井 忠幸	環境情報学部 学部長
2	副委員長	トヨタ自動車(株)	高松 孝行	物流企画部 主査
3	〃	第一貨物(株)	大山 茂夫	営業本部 業務第二部 部長
4	〃	東芝物流(株)	石崎 雅規	物流技術部 品質・環境管理部 参事
5	委員	愛知陸運(株)		
6	〃	いすゞ自動車(株)		
7	〃	NECロジスティクス(株)		
8	〃	(株)エプソンロジスティクス		
9	〃	遠州トラック(株)		
10	〃	(株)沖ロジスティクス		
11	〃	(株)オリエント・ロジ		
12	〃	オリンパス(株)		
13	〃	オリンパスロジテックス(株)		
14	〃	加藤産業(株)		
15	〃	キヤノン(株)		
16	〃	光英システム(株)		
17	〃	鴻池運輸(株)		
18	〃	国分(株)		
19	〃	佐川急便(株)		
20	〃	(株)サンロジスティックス		
21	〃	(株)J-オイルミルズ		
22	〃	四国名鉄運輸(株)		
23	〃	新日石プラスト(株)		
24	〃	新日本製鐵(株)		
25	〃	住友電気工業(株)		

		会社名	名前	役職
26	委員	センコー(株)		
27	〃	第一貨物(株)		
28	〃	大和物流(株)		
29	〃	鉄道情報システム(株)		
30	〃	東京海洋大学		
31	〃	トヨタ自動車(株)		
32	〃	豊田スチールセンター(株)		
33	〃	トヨタ輸送(株)		
34	〃	トヨフジ海運(株)		
35	〃	(株)トワード物流		
36	〃	日産ディーゼル工業(株)		
37	〃	日清オイリオグループ(株)		
38	〃	日清食品(株)		
39	〃	(株)日通総合研究所		
40	〃	有限責任中間法人日本OE協会		
41	〃	(株)日本航空インターナショナル		
42	〃	日本通運(株)		
43	〃	(株)バンダイロジバル		
44	〃	福岡倉庫(株)		
45	〃	不二製油(株)		
46	〃	富士通(株)		
47	〃	(株)フジトランスコーポレーション		
48	〃	プラネット物流(株)		
49	〃	松下電器産業(株)		
50	〃	三井倉庫(株)		
51	〃	三井物産(株)		
52	〃	三菱化学物流(株)		
53	〃	三菱倉庫(株)		

		会社名	名前	役職
54	委員	(株)三菱総合研究所		
55	〃	三菱電機(株)		
56	〃	明治乳業(株)		
57	〃	(株)ヤマタネ		
58	〃	(株)菱食		
59	〃	流通経済大学		

# 目 次

---

I. はじめに .....	1
II. モーダルシフト .....	5
III. 燃費向上 .....	31
IV. 改正省エネ法 定期報告書、計画書調査.....	121
V. 今後の検討課題.....	147

## 付録